

Ritsumeikan
Asia Pacific University

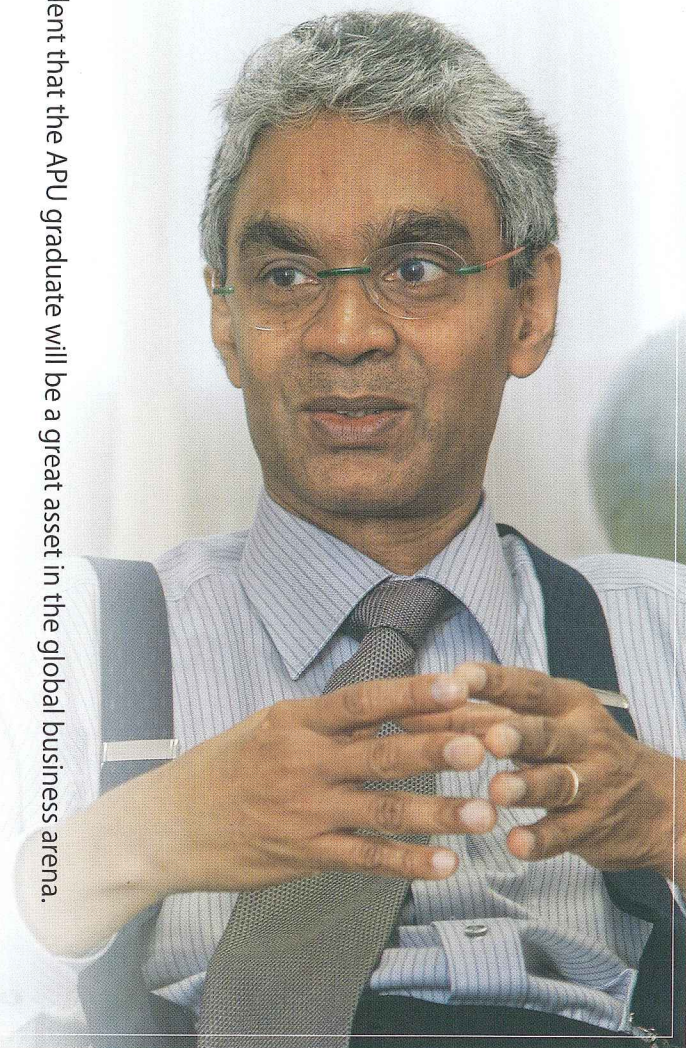
[卒業生採用のお願い]

APUから世界へ。



チャレンジ精神溢れるAPU学生を、
国際ビジネスの戦力に.....

I am confident that the APU graduate will be a great asset in the global business arena.



立命館アジア太平洋大学 (APU) では、2000年の開学以来、国際舞台で通用する真の実力を備えた人材を育てるために、従来の日本の大学にはなかった画期的な教育システムとカリキュラムを導入してまいりました。学生も教員も半数が外国籍という多文化環境のキャンパスで、学生は日英二言語教育を受け、実際のフィールドワーク、地域交流、インターンシップなどを積極的に行うことで、「問題発見・解決型」の能力や、確かな職業意識を育てております。

すでに各界でご採用いただいた卒業生はお陰様で高い評価をいただき、続く2005年3月卒業生も世界のビジネスステージに送り出すことができました。どうか今後とも、チャレンジ精神溢れる、個性豊かなAPU学生をぜひお迎えください。御社のビジネスの大きな戦力として、必ずやご期待に添えるものと確信しております。

president
Monte CASSIM

立命館アジア太平洋大学
学長 モンテ カセム

国際学生 国・地域別学生数 [2005年9月21日現在]

国地域	学部学生数	大学院学生数	学部・大学院学生数	国地域	学部学生数	大学院学生数	学部・大学院学生数	国地域	学部学生数	大学院学生数	学部・大学院学生数
韓国	489	1	490	ウガンダ	7	1	8	サウジアラビア	1	0	1
中国	315	40	355	エストニア	7	0	7	トルコ	0	1	1
台湾	125	6	131	ウズベキスタン	7	0	7	ベナン	0	1	1
ベトナム	98	23	121	カンボジア	3	2	5	コモロ	1	0	1
インドネシア	110	10	120	ルーマニア	4	1	5	エジプト	1	0	1
タイ	113	5	118	カメルーン	4	0	4	南アフリカ	0	1	1
モンゴル	59	6	65	マリ	3	1	4	タンザニア	0	1	1
スリランカ	52	1	53	バブアニューギニア	3	1	4	アルゼンチン	1	0	1
インド	40	6	46	スウェーデン	3	1	4	ボリビア	1	0	1
マレーシア	20	16	36	メキシコ	1	2	3	ブラジル	1	0	1
アメリカ合衆国	27	7	34	ニュージーランド	3	0	3	エクアドル	1	0	1
ネパール	21	1	22	サモア	2	1	3	ジャマイカ	0	1	1
ケニア	20	2	22	トンガ	1	2	3	トリニダードトバゴ	0	1	1
バングラデシュ	16	5	21	ハンガリー	3	0	3	フィンランド	1	0	1
ミャンマー	11	8	19	ウクライナ	3	0	3	ラトビア	1	0	1
フィリピン	10	6	16	コートジボアール	2	0	2	モルドバ	0	1	1
パキスタン	13	0	13	エチオピア	2	0	2	ノルウェー	1	0	1
カナダ	10	2	12	ザンビア	1	1	2	ポーランド	1	0	1
ラオス	4	7	11	コスタリカ	1	1	2	ロシア連邦	0	1	1
ガーナ	10	0	10	ドイツ	2	0	2	スイス	1	0	1
オーストラリア	7	2	9	スロバキア	0	2	2	イギリス	1	0	1
ブルガリア	7	2	9	スペイン	2	0	2				
リトアニア	9	0	9	バーレーン	1	0	1				
シンガポール	2	6	8	イラン	0	1	1				
ナイジェリア	7	1	8	ヨルダン	0	1	1				

国内学生出身都道府県別学生数 [2005年10月1日現在]

北海道・東北	東海	九州・沖縄
北海道	岐阜県	福岡県
67	25	481
青森県	静岡県	佐賀県
0	20	41
岩手県	愛知県	長崎県
5	95	44
宮城県	三重県	熊本県
17	22	66
秋田県		大分県
0		370
山形県	近畿	宮崎県
5	滋賀県	29
福島県	4	鹿儿岛県
	37	32
	京都府	沖縄県
	163	30
	大阪府	
	224	
	兵庫県	
	105	
	奈良県	
	37	
	和歌山県	
	13	
	中国	
	4	
	鳥取県	
	5	
	島根県	
	岡山県	
	36	
	広島県	
	64	
	山口県	
	32	
	北陸	
	新潟県	
	5	
	富山県	
	9	
	石川県	
	11	
	福井県	
	4	
	四国	
	徳島県	
	11	
	香川県	
	26	
	愛媛県	
	36	
	高知県	
	15	

*国内学生の都道府県別在籍者数は出身高校を元に集計しています

▶独自のキャリア開発プラン

CAREER DEVELOPMENT PROGRAM [4年間のキャリア開発ステップ]

1回生

2回生

3回生

4回生

STEP

1

4年間をどう過ごすのか

入学直後に行うキャリアガイダンスにおいて、4年間の大学生活をいかにして過ごすのかに言及し、希望する進路や学びたい領域について「進路意識調査アンケート」を実施。さらにこれに基づき、随時進路や履修に関する指導・相談を行います。

STEP

2

将来像のモデル提示

国際企業・団体のトップおよび各界の第一線で活躍中の方々を招いての講演会、立命館大学の卒業生との懇談会などを一回生時から多数開催。また、企業・業界研究を主な目的としたビジネス理解や自己のキャリア形成を目的としたキャリアディベロップメント講座といった正課講座などを通し、学生たちが「大学ですべきこと」を明確にしていきます。

STEP

3

インターンシップへの参加

一回生からインターンシップへの参加を支援します。インターンシップを通じて、早い段階から自身の「強み」「弱み」を知ると同時に仕事の厳しさ・難しさ、或いは働くことの醍醐味を実感させ、確かな職業観を育みます。

STEP

4

キャリア・カウンセリング

学生たちの希望をカウンセリングで引き出し、スキルを把握したうえで、社会のニーズと照らしあわせ、適切なアドバイスを行います。履歴書やエントリーシート、筆記試験や面接といった対策講座を実施し、就職するのに必要な基盤を築きます。また就職に関するさまざまな学生支援プロジェクトで、学生リーダーを選出し、学生たちの自主的な活動の活性化をはかります。

APUキャリア・オフィス

キャリア開発をサポートする
専門部署を設置。

APUではキャリア開発の専任スタッフが常駐する「キャリア・オフィス」を設置し、就職先企業・団体との交渉、情報交換、豊富な情報提供などを精力的に行っています。またAPUの学生は立命館大学の2ヶ所のキャリアセンター（衣笠・BKC）や立命館アカデミア@大阪、東京オフィスも利用することができ、企業情報の検索や相談などを行えます。

キャリア開発

求人情報の公開のほか、個々の学生の進路志望と社会ニーズをつなぐ役割を担うAPUキャリア・オフィスでは、一回生時から全学生の希望進路や取得資格などを記入した「キャリア・チャート」を作成してい

ます。早期からきめ細かなキャリア開発プログラムを展開することで、学生の能力開発と進路への意識づけを行います。さらにインターンシップへの参加などにより、明確な職業観の育成をはかります。

立命館大学のキャリアセンター
も利用可能です。

立命館アカデミア@大阪
☎06-6201-3610・☎06-6201-3620



立命館東京オフィス
☎03-5204-8611・☎03-5204-8712

APS

アジア太平洋学部

国際社会学の知識と実践力を養成する教育を展開。「環境」「開発」「観光」「メディア」などの視点からアプローチし、グローバルな視野をいかして国際社会で活躍できる各分野のスペシャリストを育てます。

革新的なことを創造し、常に人々を喜ばせる サプライズ人間であり続けたい。 生涯を通じて社会貢献を していきたい。

北海道・立命館慶祥高等学校出身
アジア太平洋学部[2006年3月卒業予定]
アメリカンファミリー・ライフ・アシュアランス・
カンパニー・オブ・コロニバス日本支社内定

浅野 太紀さん



グローバルな人間を目指して APU、そしてイギリス留学へ

私は子供の頃から世界に関心がありました。小学校でカナダに短期留学し、中学校ではNGOのOISCAを通してフィジーへ。高校ではニュージーランドとリトアニア研修を体験。国際性を養うという私の目標にとってAPUは最高の環境です。多国籍の学生が集うAPUならではの交流もとても楽しく、1つの概念にとらわれることなく自分を問いていきたいという私の生き方を常に後押ししてくれています。



3回生の9月には、交換留学でイギリスのウエストミンスター大学へ。入学当時から都市開発に関心をもっていました。開発経済に興味を持ち、ノーベル賞受賞者でもある経済学者アマルティア・セン教授の著書を原文で読みたいと考えイギリス行きを決めました。イギリスではフィールドワークを頻繁に行いながら懸命に勉強しました。ロンドンという大都市で存在を認めてもらうためにコミュニケーション能力も磨かれていったと思います。

大好きな音楽活動によって キャンパスの活性化にも大きく貢献

APUは若い大学だからこそ、チャレンジの機会に溢れています。自分の軸の1つでもある音楽を通じて課外活動には率先して取り組みました。外国人学生も積極的に引き入れて1回生の時に立ち上げた音楽サークル「Life Music」は弦楽器と、私が高校時代から続けているサクソフォーンなど管楽器とのアンサンブル。別府市吹奏楽団との共演を行うなど活発な活動を続けています。サークル名には、人の人生と同じように喜怒哀楽を仲間達とシェアし生み出される音楽で人を感動させたいという



思いが込められています。

2回生では友人が企画したミュージカル「CATS」の音楽監督を引き受けたほか、APUで「芸術の祭典2003」を企画して3回生の時に実現。これは学内音楽・舞踏系サークルが一堂に会するコラボレーションで、ミレニアムホールが超満員になるほどの大成功を収めました。個人としては2回生の時にヤマハの管楽器コンテスト九州大会で優勝。これらの活動が評価されて2003年にはAPU自主活動優秀者に選ばれ、父母会から奨学金をいただくこともできました。今までの努力と結果が結びついた年でした。



留学先のイギリスでもギルドホール音楽大学の先生に師事してサクソフォーンを猛勉強しました。その甲斐もあって立命館大学オーケストラと私のソロとの共演が果たせましたし、ニューヨークのプロ・バレエダンサー、アキスタジオさんとのコラボレーションも大成功に終わりました。

私は音楽に関してはセミプロを目指したいと考えています。大好きな音楽を、お金を稼ぐ手段にたくなく、利益追求型の音楽ではない、常に何か人のために役立つ音楽を奏でていきたいです。

社会貢献度の高い企業に就職して 今後も自分の幅を広げたい

卒業後は大学院進学も考えていましたがアメリカンファミリー生命保険会社に就職することにしました。生命保険会社なら広く人々の役に立てますし、実際にアフラックでは、「生きてこそ」をモットーとした商品開発や様々な社会貢献活動を行っています。大学院で学ぶのはいったん社会に出て幅広い視野を養ってからでも遅くありません。就職活動に際してはチャレンジ精神や独自性、プレゼンテーション能力をアピール。今後もAPUでの生活と同様、常に新しいアイデアを創出して周囲を喜ばせる「サプライズ人間」であり続けたいと思っています。

浅野さんの学生生活

1回生

- 基礎教育科目を勉強。
- 音楽サークル「Life Music」を創設。

2回生

- 都市と環境についての学びを深める。
- ミュージカル「CATS」の音楽監督。
- 「芸術の祭典2003」を企画、翌年実現。
- ヤマハの管楽器コンテスト九州大会でチャンピオン、全国大会出場。

3回生

- 留学準備のため、授業と課外活動の合間を縫ってTOEFL®を猛勉強。
- 英国ウエストミンスター大学に留学。留学テーマは「自己啓発」。
- ロンドンで音大教授に師事してサクソフォーンの勉強を続ける。
- APU自主活動優秀者。

4回生

- 帰国後、就職活動。

5回生

- アメリカンファミリーに内定。
- 立命館大学オーケストラと共演。
- 米プロ・バレエダンサーとのコラボレーションを大成功させる。

きる実践力を養う。そして、APUから国際社会の最前線へ。

発展途上国への貢献と インド・日本の橋渡しがしたい。 APUは学業だけでなく、 人間力の向上に最高の環境でした。

インド出身
アジア太平洋マネジメント学部 [2006年3月卒業予定]
株式会社東芝内定

DUGAR Priya

ドゥガー・プリヤさん

日本の発展に学び、発展途上国への貢献を志してAPUへ

私は高校2年生のとき和歌山県立粉河高校に留学しました。そのとき戦後飛躍的な発展を遂げた日本という国に興味を抱き、インドは日本から学ぶことが多いことを知りました。

APUを志望したのは日英二言語教育に魅力を感じたのと、英語で講義を行う大学でありながら日本人学生も多く、自分の視野を広げられると考えたからです。以前からインドを含めた発展途上国に何らかの形で貢献したいと思っていましたし、会社経営にも関心がありましたので学部は迷わずAPMを選びました。

TAやプレゼンを通じて 異文化理解と国際協調を学ぶ

APUではAPハウスでのRA (Resident Assistant)、教授や1・2回生のセミナークラスのTA (Teaching Assistant)、情報システムの学生アシスタントを経験。1回生のクラスでは、まだ言葉の通じない日本人学生と外国人学生たちがいかにディスカッションを進めていくかが大きな課題でした。そこでゲームなどを通じてリラックスできる雰囲気を作り、クラス内の親睦を深めるのがTAとしての私の役目。自分自身のコミュニケーション力やリーダーシップが培われることにもなった意義深い経験です。

多様な国々から学生が集まれば、ときには摩擦も生じます。インドについてプレゼンテーションを行ったとき私とパキスタン人学生との間で歴史観がまったく相容れなかったことがあったのですが、結局異なる2つの意見をそのまま紹介することにしました。一方では、ベジタリアンの私に対してルームメイトが料理にとっても気を遣ってくれたことも、異



なるものを認めて尊敬し合うことの大切さを学べた、非常によい機会だったと思います。

経営の現実を学び、学外でインド文化の紹介も積極的に展開

授業では3回生の演習で「経営資源としてのブランド企業戦略における重要性」を選択。現実的な問題を多様なケースを通じてたくさん学べたことは今後私が仕事をしていく上で必ず大きなプラスになると思いますし、日本語も上達しました。サブゼミでは「Study of economic organization-comparison of Japanese and American style management」で日本とアメリカの経営スタイルの違いを学習し、日本で働くためのヒントをたくさん得ることができました。インド文化の紹介も積極的に行いました。2回生の時はイベント「BEPPU ドリームバル」でインド雑貨ショップを出店。安心院町の文化プログラムでは南インドの舞踊を友人と一緒に披露。2回生からはバドミントン部と水泳部に所属したり、現在もAPUのオンライン学生新聞「BOUNDLESS」に日本の生活に関する文章を寄せたりと、課外活動にも積極的に参加しています。



夢は日印間のギャップを埋める教育企業の経営

様々な文化的ギャップを克服しながら何事にも全力で取り組み、学年の成績優秀者に過去5回も選ばれたことは大きな自信となっています。東芝への就職が内定したのも、私のそのような4年間を評価していただけたからではないかと思っています。東芝は若いうちから海外へ行くチャンスが多い会社ですし、社会インフラ事業部では発展途上国に貢献できます。将来はインドでカルチュラル・トレーニング会社を起すのが夢。日本の言語だけでなく文化や労働システムなども教えることにより、私のように日本で働きたい人のサポートができればうれしいです。

APM アジア太平洋 マネジメント学部

国際経営学を専門教育の基礎に据え、21世紀の社会に即した戦略的なマネジメントの理論と実践力が身につく教育を展開。世界第一線のビジネスシーンで活躍できるリーダーを社会に送り出します。

ドゥガーさんの学生生活

1回生

- 授業や自習で日本語を勉強。
- APハウスのRAを経験。
- 安心院町の文化プログラムで南インドの舞踊を演じる。

2回生

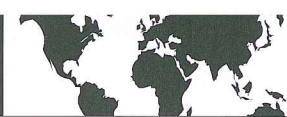
- バドミントン部と水泳部に入部。
- セミナークラスでTAを務める。
- 情報システムの学生アシスタントを務めて現在に至る。
- 「BEPPU ドリームバル」にインド雑貨ショップを出店。

3回生

- TAを務める。
- インド・ウィークで踊りと歌のパフォーマンスを披露。

4回生

- TAを務める。
- 株式会社東芝に内定。



APUニュー・チャレンジ

2006年度、APUは学部カリキュラムの改革、クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラムの開設、グローバル・アクティブ・ラーニングの推進と大きく進化します。ふたつの学部の専門領域を融合し、アジア太平洋地域の重要課題について理論と実践の両面から学んでいくことで、よりクリエイティブで国際的に通用する学生を育成します。

学部カリキュラムの改革

本学の教育力の国際的通用性をさらに高めるために、アジア太平洋学部(APS)においては国際社会学、アジア太平洋マネジメント学部(APM)については国際経営学を中心として、主専攻を明確化するカリキュラムへの再編成を行います。アジア太平洋学部では「比較社会・文化」「国際社会ガバナンス」「環境資源政策」「持続可能開発」の4つの分野を編成し、それぞれをクラスター(科目群)として、強化します。また、アジア太平洋マネジメント学部では「マーケティングと企業戦略」「会計とファイナンス」「国際ビジネスと比較経営」「ニュービジネスとイノベーション」の4つの分野に重点化するカリキュラムを編成します。

クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム

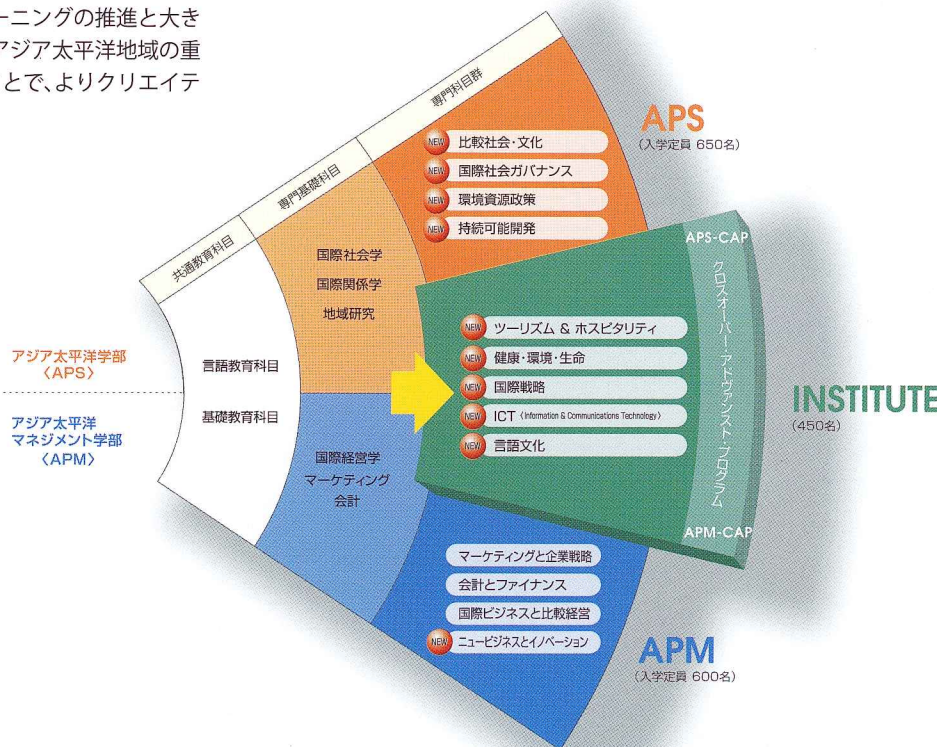
インスティテュートは、複数の学問領域を横断する学際的教育・研究組織です。既存2学部・2研究科における教育研究内容を対象とする領域・分野に応じて融合させ、学士課程から大学院までの教育プログラムを整備した組織として創設します。APUにおけるこれまでの教育研究の展開の成果を踏まえつつ、アジア太平洋地域における現代的課題から、現代社会のニーズを考慮の上で、5つのインスティテュートを設置します。

- ツーリズム&ホスピタリティインスティテュート
- 健康・環境・生命インスティテュート
- 国際戦略インスティテュート
- ICTインスティテュート
- 言語文化インスティテュート

各インスティテュートでは、独自のカリキュラムを有する学士課程の融合的教育プログラムを開設します。この新しい教育プログラムが「クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム」であり、アジア太平洋学部とアジア太平洋マネジメント学部の学問領域を融合させるプログラムとして、学士課程から大学院(修士・博士課程)への接続も視野に入れたリーダー養成のための高度な内容を提供します。

グローバル・アクティブ・ラーニング

教室内での講義型の学習では得られない、「経験」や「交流」を重視した教育システムを導入。国内外でのフィールドワークやインターンシップ、海外留学、国際学生会議への参加など実践的・体験的学習を積極的に推進します。



経営大学院 [MBAプログラム]

日本・アジア太平洋で重要な役割を演ずるビジネス人材を育成するため、経営大学院(MBAプログラム)を設立しました。米国MBAの理論およびメソッドを教育のベースに導入する一方で、日本やアジアの企業に密着したケースを開発する、新しい試みのプログラムです。教員も約半数が外国籍、授業は全て英語で展開しています。



「アジア中の実務経験豊富な学生と活発なディスカッションができ、貴重な人的ネットワークの形成ができる環境です。グローバルマインドを持った人材を育てています。」

Dean, Ronald J. PATTEN

APU経営大学院研究科長

経営管理専攻: 修士課程

課程名	専攻名	分野	入学定員
修士	経営管理(MBA)	ファイナンス	15
		国際ビジネスとマーケティング	15
		イノベーションと技術経営	10

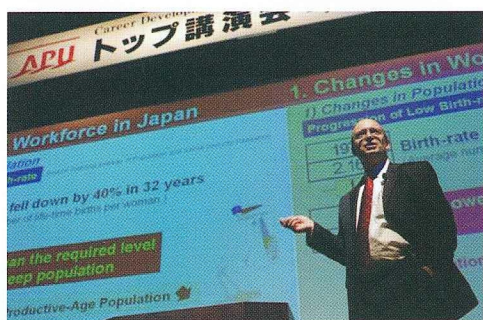
大学院に関するお問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学アドミッションズ・オフィス
TEL.0977-78-1119 FAX.0977-78-1121
apugrad@apu.ac.jp

www.apu.ac.jp/graduate



トップ講演会



第8回アデコ株式会社 代表取締役会長マーク・デュレイ氏

世界の政治や経済状況に触れ、
学生各自のキャリア形成を促す。

APUでは、国際的な企業のトップマネジメントや各界のリーダーを講師に招いて行う「トップ講演会」を定期的開催しています。講演会には毎回多くの一般市民や学生が出席し、世界の政治や経済状況への理解を深めるとともに、ビジネスや行政の最前線で活躍されている方々から社会の現場で求められる人材像を学び、より明確な目的意識を持ってキャリア形成を行うために役立てています。



特別講演

前駐日フィリピン共和国全権大使 ユーチェンコ企業グループ
会長 **アルフォンソ・T・ユーチェンコ氏**
アジア市場における21世紀のビジネス

第8回

アデコ株式会社 代表取締役会長 **マーク・デュレイ氏**
世界のアデコが見抜く!
雇用環境—雇用システムの未来デザインを作る

第4回

日本アイ・ビー・エム株式会社 最高顧問 **椎名武雄氏**
異文化との共生
～日本IBMの歴史から～

第7回

キヤノン株式会社 代表取締役社長 **御手洗富士夫氏**
キヤノンの経営戦略

第3回

日本外交予防センター 会長 **明石康氏**
国際社会における日本の役割
～国際貢献とは～

第6回

マイクロソフト株式会社 代表取締役社長 **阿多親市氏**
Unlimited Potential
無限の可能性

第2回

株式会社東芝 代表取締役社長 **西室泰三氏**
Global Market Trend and
Toshiba's Challenges

第5回

日本ヒューレット・パッカード株式会社 代表取締役社長 **寺澤正雄氏**
インターネットの将来と
皆さんへの期待

第1回

大分県知事 **平松守彦氏**
アジアとの共生
～ローカル外交と一村一品運動～

※肩書きは講演当時のもの

テレビ会議システムによる選考

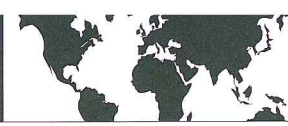
Global TV Interview System

国内での採用だけでなく、海外現地法人での採用ニーズの高まりに対応し、面接・懇談の場を設定するため、2005年4月からテレビ会議システムの利用を開始しました。海外や遠方での選考日程を調整することは非常に困難ですが、テレビ会議システムの導入により時間と距離を短縮し、企業の国内外での人材採用ニーズに迅速に対応することが可能となりました。既に国内外の企業・団体による選考に活用され、採用へと繋がっています。



メディア・センターメッセージ

立命館アジア太平洋大学(APU)の位置する大分県別府市は、東京まで約800km、大阪まで約400km、アジアの玄関と言われる福岡まで約100kmの距離にあります。逆に韓国のソウルは約650kmと、東京より近い距離にあります。「学生の学びと成長に寄与する」ことは全学の共通目標ですが、メディア・センター固有の目標として、①急速に進むIT技術革新への対応、②ITを通じてAPUの様々な制約を克服する。③メディア・センターの職員がIT活用をベースに、学内業務改善コンサルタント的役割を果たす。の3点を掲げ、日々の業務に邁進しています。今回ご紹介させていただいた「テレビ会議システムを使った就職活動のサポート」も学生サポートのひとつであり、これ以外にも、Web上での履修登録、WebCTをベースにしたe-learningの推進、VPN(ヴァーチャル・プライベート・ネットワーク)を使ったオンラインジャーナル・オンラインデータベースの学外からの閲覧等、ITを通じて時間と場所の制約を克服すべく努力を続けています。



オンキャンパス・リクルーティング



企業・団体の方々にご来学いただき、会社説明会や筆記試験、面接といった採用の一連の流れをAPUキャンパスの中で行う「オンキャンパス・リクルーティング」を実施しています。会社説明会は、各企業や業界に興味・関心のある学生を学内で広く募集し、実施しております。企業と学生の双方が非常に近い距離でコミュニケーションを図れる機会となるため、事業内容などの深い理解へと繋がっています。また、筆記試験や面接といった採用選考を通して、国際的な環境で異文化と日常的に向き合っている様々な学生たちを直接ご覧いただき、企業・団体の皆様に学生をより知っていただく機会となっています。就職活動支援の大きな柱として実施し、2005年度には前年度を上回る約160社もの日本を代表する企業・団体が来学され、国内外で多くの採用へと繋がりました。

主なオンキャンパス・リクルーティング参加企業(2005年度卒業予定者対象)

愛三工業株式会社	株式会社JALインフォテック	日本興亜損害保険株式会社
アコム株式会社	昭和電工株式会社	日本テキサス・インスツルメンツ株式会社
株式会社あさひ	住商リース株式会社	株式会社日本旅行
旭化成株式会社	住友化学株式会社	野村證券株式会社大分支店
アサヒビール株式会社	住友金属工業株式会社	白光株式会社
味の素株式会社	住友ゴム工業株式会社	阪和興業株式会社
アデコ株式会社	*住友商事株式会社	株式会社日立製作所
池見林産工業株式会社	住友信託銀行株式会社	ヒロセ電機株式会社
石川島播磨重工業株式会社	住友電気工業株式会社	富士ゼロックス株式会社
*伊藤忠商事株式会社	住友電工ウインテック株式会社	富士通株式会社
*伊藤忠丸鉄鋼株式会社	住友電装株式会社	古河オートモーティブ・パーツ株式会社
株式会社INAX	住友電装コンピュータシステム株式会社	ベルネット株式会社
株式会社SRA西日本	*株式会社千趣会	株式会社豊和銀行
株式会社オーイーシー	ダイキン工業株式会社	株式会社毎日コミュニケーションズ
大分全日空ホテルオアシスタワー	*株式会社タムラ製作所	マブチモーター株式会社
大分みらい信用金庫	株式会社ティスコ	三井化学株式会社
株式会社オートバックスセブン	株式会社テクノスマイル	*三井住友海上火災保険株式会社
小野薬品工業株式会社	電機油脂株式会社	三井物産株式会社
オリックス株式会社	株式会社アデンケン	三菱化学株式会社
株式会社カネカ	東海ゴム工業株式会社	三ツ星ベルト株式会社
株式会社カモガワ	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ミルボン
株式会社川島織物	東京電力株式会社	メルリンチ日本証券株式会社
北九州青果株式会社	東京ドロウイング株式会社	矢崎総業株式会社
九州旅客鉄道株式会社	東陶機器株式会社	YAMAGATA株式会社
株式会社熊谷組	東レ株式会社	株式会社山口銀行
株式会社公文教育研究会	株式会社トーマン	株式会社山登ゴム
クラリオン株式会社	凸版印刷株式会社	ユニ・チャーム株式会社
株式会社クレオテック	株式会社トライアルカンパニー	ロート製薬株式会社
株式会社神戸製鋼所	株式会社トラベルヴォイスアンドネット	*ローム株式会社
*株式会社コトブキ	株式会社西日本新聞社	YKK株式会社
株式会社コメリ	日揮プランテック株式会社	他(50音順)
五洋建設株式会社	日産自動車株式会社	
株式会社サトー	日東電工株式会社	
サンスター株式会社	日本ガイシ株式会社	
株式会社サンフィールド	日本軽金属株式会社	
株式会社ジェイティービー	株式会社日本触媒	
株式会社滋賀銀行	日本アイ・ビー・エム株式会社	

*一部、海外現地法人採用の企業を含む

充実のキャリア育成プログラム

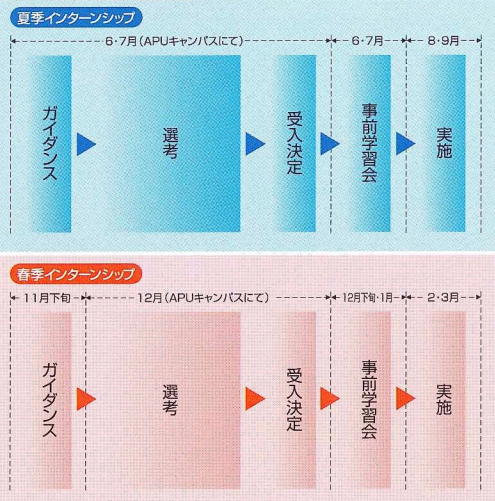
インターンシッププログラム

INTERNSHIP PROGRAM

企業や団体の実務に触れ、実践的なスキルと業務意識を育む。

本学では、インターンシップを産学官連携による重要な人材育成プログラムの一つとして位置づけ、取り組んでいます。そして、実践的に大学で学問を行っていくために、単位認定の制度も採り入れながら積極的に展開しています。学生にとってインターンシップは、自らのキャリアについてより真剣に、より具体的に考えるための様々な要素を得ることができる大変貴重な機会です。APUでは、開学からこれまで、協定型だけでも約100の企業・団体のべ700名以上の学生を派遣しており、その約半数近くは留学生が占めています。また、派遣先は国内のみならず、海外の企業、政府機関、NGOなどにも及んでいます。キャリア・オフィスでは、こうしたインターンシップが、企業・団体の皆様にAPUの学生像を直接みていただく絶好の機会であると認識しております。その成果の一つとして、プログラムの中には、卒業後の採用に至る「採用直結型インターンシップ」もあります。今後も個別に期間・内容等の基準を定め協定を結び学生を派遣する形態、学生が任意に受入れ先を探し、申し込む自由応募型インターンシップの学生への案内など、キャリア・オフィスでは、数多くの企業・団体との連携を深め、インターンシップの内容の充実を積極的に進めてまいります。

協定型インターンシップの流れ



主な協定型インターンシップ先企業・団体 (2005年9月末実績)

企業名 RKB毎日放送株式会社 旭化成株式会社 延岡支社 株式会社朝日新聞西部本社 株式会社エフエム福岡 おおいたインフォメーションハウス株式会社 株式会社大分銀行 大分ケーブルテレコム株式会社 大分県庁 大分航空ターミナル株式会社 大分全日空ホテルオアシスタワー 大分みらい信用金庫 学校法人 大原学園 カオハガン・アイランド・クラブ Inc. 韓国貿易センター (福岡) NPO法人木と遊ぶ研究所 株式会社熊谷組 経済産業省 九州経済産業局 財団法人国際観光サービスセンター (ITC) 国際観光振興機構 国際協力機構 (JICA) ・アメリカ事務所 ・フィリピン事務所 ・九州国際センター 札幌市役所 株式会社セトウベネック 三洋電機株式会社 株式会社滋賀銀行	財団法人 社会経済生産性本部 新日本監査法人 全日本空輸株式会社 社会福祉法人大幸会 サン・フラワー京築 社会福祉法人 太陽の家 株式会社ツーリズムマーケティング研究所 株式会社TOSエンタープライズ 株式会社セトキハ 徳島県庁 西日本電信電話株式会社大分支店 日本国際連合協会東京都本部 日本通運株式会社 大分支店 日本貿易振興機構 (JETRO) 本部 ・大分貿易情報センター ・海外事務所 株式会社日本旅行 熱帯農林技術開発協会 福岡市総務部企画局 株式会社富士通九州システムエンジニアリング 株式会社プライトキャリア 別府市役所 三井化学株式会社 MYANMAR POLESTAR TRAVELS & TOURS 文部科学省 株式会社ヤザヤ 株式会社讀賣新聞社 東京本社
--	--

主な自由応募型インターンシップ先企業・団体 (2005年9月末実績)

企業名 株式会社伊勢丹 インドネシア貿易振興センター大阪 韓国 MBC放送 株式会社公文教育研究会 国際協力機構 (JICA) ウズベキスタン事務所 サンスター株式会社 タイ国政府貿易センター福岡 タイムラー・クライズラジャーヤン 帝人株式会社	株式会社東芝 東海機器株式会社 株式会社西日本新聞社 Bank of China 富士通株式会社 三井物産株式会社 三井物産 (タイ) UNFPA (国連人口基金) 東京事務所 ※50音順
---	--

インターンシップで現場の地道な努力と責任の重さを実感しました。



奈良県・奈良育英高等学校出身
アジア太平洋学部3回生

武藤 久さん

小学校のとき父に連れられて韓国へ旅行に行ったのを機に日韓の歴史に関心を持つようになりました。高校時代はサッカー部でプロを目指していましたが、やがて限界も見えてきます。そんな中で自分の辛い思いを書き続けたり在日コリアンの人たちと交流したりするうちに「感じたことを人に伝えたい」「人の気持ちや物事の原因を自分で追究したい」と考えるようになり、ジャーナリストを志望。APU入学後も学外で日韓学生フォーラムに参加して実行委員を1年間務め、朝鮮半島と日本の関係について今も考え続けています。朝日新聞西部本社は当時インターンシッ

受入先企業担当者のメッセージ

“武藤久記者”の署名原稿を読む日が、今から楽しみです。

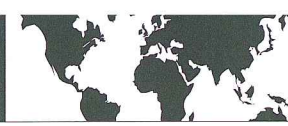
朝日新聞西部本社は9月12日から22日までの土日を除く8日間、3大学8人の学生を夏季インターンとして、初めて受け入れました。この短期間に取材、写真撮影、原稿執筆、校閲、見開きインターン新聞の製作まで体験してもらい、新人記者研修でもここまではやるまい、という相当ハードなメニューでしたが、全員、エネルギーにこなしてくれました。

中でも武藤君は、新聞記者志望という動機が明確だったせいか、夜も1人で遅くまで居残り、昼間のインタビューのメモを整理するなど、努力ぶりが一際目立っていました。実習で得たものを、彼はインターン新聞に「地道に事実確認／書く責任 サツ回りで体得」との見出しで記事にしています。夢が現実となり、いつか新聞紙上で「武藤久記者」の署名原稿を読む日を、楽しみにしています。

株式会社朝日新聞西部本社
編集局長補佐

滝本 裕氏





2005年4月入社
OB INTERVIEW



富士通株式会社
サービス統括部
トヨタビジネス本部
グローバルサービスグループ勤務
HINDAWI Safwan
ヒンダーウィ・サフワンさん

シリア出身
アジア太平洋学部
2005年3月卒業

**異文化理解を通じて国際人として成長。
将来は母国に富士通をつくりたい。**

戦後短期間で大きな発展を遂げた日本と日本文化に関心があり、アレッポ大学経済学部で2年間学んだ後いったん就職してからAPUに入学しました。会社では現在新人研修中で、ITソリューションの営業・SEをしています。日本語の勉強を始めたのは来日後です。会話は別府市民の方々との交流によってスキルアップを図り、授業や日常生活の中で英語力も向上。空手部に所属して初段も取りました。APUでは様々な国の学生と同じテーマについて異なる価値観や文化的背景を交換しながら話し合う機会が多く、自然に国際理解とコミュニケーション力が深められました。授業のプレゼンテーションでも多様な価値観をもつ学生に自分の考えを伝えるための工夫を重ね、また自分の知らないことはその場で尋ねるといった積極的な態度によって物事に対する冷静な判断力と幅広い行動力が培われたことは、現在の仕事においても役立っていると思います。会社ではさらにグローバルな視点を養い、海外の支社へも行きたいですね。将来はシリアに富士通をつくるのが目の下の夢です。

2005年4月入社
OG INTERVIEW



株式会社カネカ
機能性食品事業部
営業グループ勤務
岡野綾子さん

大阪府・帝塚山学院
泉ヶ丘高等学校国際科出身
アジア太平洋学部2004年9月卒業

**やりたいことがあればとにかく動く。
APUで学んだ「輝く方法」が今に生きています。**

外国人学生が約半数いる国際性に惹かれてAPUに入学しました。第2外国語は中国語を選び、交換留学では小学生時代に渡航経験のある台湾へ。私に国際問題に対する目を開かせてくれた国で独立問題やアジア太平洋の政治経済を直接見聞き、その行方を確かめたかったからです。女性2人でAPUに硬式野球部を創設したのも貴重な経験。大学側との重なる交渉をクリアして好きなことを買けた経験は私の中で大きな実を結びました。APUではしっかり自己主張してこそ輝けますし、一方で相手の意見もよく聞かないと協同作業はできないのでバランスの取れたコミュニケーション力が培われたと思います。このようなAPUでの多様な経験を土台に社会人になった今も、“何でも吸収し、それを自分なりの形にしていこう”ことを心がけて仕事に取り組んでいます。今後は、英語のブラッシュアップにも注力し、まずは一人前の営業パーソン、そして将来的には海外赴任も経験し、グローバルに活躍できる人材になりたいですね。

海外現地法人にて活躍中
OG INTERVIEW



**三井住友
海上火災保険株式会社**
タイ支店勤務
Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd.,
Thailand Branch
**SAMONROJANA
Muangkoom**
サモンロジャナ・ムアンクームさん

タイ王国出身
アジア太平洋マネジメント学部
2004年9月卒業

**APUで果たせた人間的成長を糧に
さらに総合力を磨きたい。**

チュラロンコン大学で半年間会計学を学んだ後APUに入学しました。私は従来内向的だったのですが、APUでは様々な国の学生と親交が深められ、バドミントン部やバレーボール部、和太鼓のサークルにも参加。授業ではプレゼンテーションで鍛えられ、一人暮らしも経験して精神的に自立できました。現在会社では英語を駆使し、補助的に日本語を使いながら、日本企業のお客様を相手に貨物海上保険の損害査定を担当しています。スタッフと意見交換をしたりお客様とデリケートな交渉を行ったりする中で自分の考えを臆せず述べるようになっていったのも、APUで人間的に成長できたからだと感じています。タイの人々は仕事も生活もスローペースで、日本人との間には文化的差異が多々あります。両方の長所と短所を知っているからこそ、今の会社で私の力を発揮できる仕事がたくさんあるのだと思います。今後は皆様に指導していただきながら実績を積み重ね、将来は自分で会社経営をして両親とAPUに恩返しをするのが私の夢です。

採用企業担当者
INTERVIEW



**三井住友
海上火災保険株式会社**
タイ支店 ディレクター
Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd.,
Thailand Branch
野津健市さん

**日・タイ間の違いをプラスに変える
幹部候補生を待っています。**

APUで語学力を磨き、タイと日本双方の文化を知って仕事に活用できる学生を求めているところ、期待どおりの優秀な人材に出会えました。サモンロジャナさんは細かい配慮のできる人。向上心が高くとても真面目なので、会社では皆が非常に好意的に彼女を指導しています。英語力は問題ない上、日本語独特の表現も理解。「行間を読む」ことのできる高い潜在能力には感心します。現在タイの日系企業では、優良企業であるほど現地化が進行中です。今後は日本人が裏方に回り、タイスタッフがさらに表舞台上で活躍するスタイルが発展するものと予想されます。サモンロジャナさんもぜひその意識をもち、主体的な立場で会社を動かせる人材に育ってほしいですね。タイの労働市場では短期間で転職してしまうケースが少なくありませんが、当社では優秀なタイ人社員を中長期的にじっくり育成するのがポリシー。両国の文化に精通し、幹部候補生になり得る人材が今後もAPUから来てくれることを大いに期待しています。

主な内定先企業
団体
[2005年3月31日現在]

- *愛三工業株式会社
- アイシン精機株式会社
- 株式会社アイライン
- アコム株式会社
- *株式会社あさひ
- 旭ダイヤモンド工業株式会社
- *アサヒビール株式会社
- *アデコ株式会社
- アビームコンサルティング株式会社
- *アメリカンファミリー生命保険会社
- イーディーコントライブ株式会社
- イオン株式会社
- 石川島播磨重工業株式会社
- いちよし証券株式会社
- 株式会社伊予銀行
- 株式会社ヴァーナル
- ANAセールス株式会社
- *株式会社エイチ・アイ・エス
- SMBCフレンド証券株式会社
- *株式会社エスディーヴィー・ジャパン
- 株式会社エヌエイチケイ文化センター
- *LG. Philips LCD Co., Ltd.
- 株式会社オーエーシー
- 大分キャンノ株式会社
- *株式会社大分銀行
- 大分全日空ホテル オアシスタワー
- 株式会社オークワ
- オムロン株式会社
- オリックス株式会社
- オリックス自動車株式会社
- オリックス信託銀行株式会社
- 独立行政法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
- 株式会社カネカ
- 株式会社ガリバーインターナショナル
- 関西ペイント株式会社
- *キョーマン株式会社
- 株式会社キャッチネットワーク
- 財団法人休暇村協会
- 九州電力株式会社
- 空港グランドサービス株式会社
- *Kumon Australia Pty Ltd.
- クラブツーリズム株式会社
- クラリオン株式会社
- *Covansys (India) Private Limited
- *株式会社コトブキ
- 小松フォークリフト株式会社
- *株式会社コメリ
- 五洋建設株式会社
- 株式会社サイバード
- *株式会社サトー
- サムコ株式会社
- 三貴商事株式会社
- サンスター株式会社
- サンデン株式会社
- *三洋電機株式会社
- *サンワテクノス株式会社
- *The Ascott Group Limited
- 株式会社CSK
- 株式会社ジェイティーピー
- 株式会社JTBヨーロッパ
- 株式会社滋賀銀行
- シキボウ株式会社
- 社会保険庁 富山社会保険事務局
- ジャパン・エア・ガズ株式会社
- 株式会社JALスカイ九州
- 株式会社JALナビア大阪

- 株式会社ジューピターテレコム
- Singapore Airport Terminal Services Limited
- *申昭和技咨詢(上海)公司
- 鈴江コーポレーション株式会社
- スター精密株式会社
- スタンレー電気株式会社
- 住商エアバック・システムズ株式会社
- *住友ゴム工業株式会社
- 住友信託銀行株式会社
- *住友電装株式会社
- *住友電装株式会社インドネシア
- *住友電装コンピュータシステム株式会社
- *住友電装株式会社タイ
- セイコーインスツル株式会社
- 全日本空輸株式会社
- ソニー株式会社
- ソフトバンクBB株式会社
- *大金(中国)投資有限公司 大連事務所
- *タイ住友商事会社
- *ダイワ工業株式会社
- ダイヤモンドリース株式会社
- 大和証券株式会社
- 株式会社武富士
- タナキヤンジャパン株式会社
- タマホーム株式会社
- 株式会社DTS
- *株式会社テクノスマイル
- 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 株式会社テニスジャパン
- テル株式会社大連
- 株式会社テレビ大分
- *デンソータイランド社
- 東急建設株式会社
- 東陶機器株式会社
- 東邦亜鉛株式会社
- *東レ株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 株式会社ドトールコーヒー
- *株式会社トライアルカンパニー
- *株式会社トラベルヴォイスアンドネット
- 株式会社西日本新聞社
- 西日本旅客鉄道株式会社
- *ニチコン株式会社
- 日興コーディアル証券株式会社
- *日産自動車株式会社
- 株式会社ニッショードラッグ
- 株式会社日新
- ニッセイ同和損害保険株式会社
- *株式会社ニッソーサービス
- 株式会社ニトリ
- *日本インター株式会社
- 日本オルガノン株式会社
- *株式会社日本公文教育研究会
- 日本生命保険相互会社
- 日本生命保険相互会社 福岡支店
- 日本電産シバウラ株式会社
- *日本電産リード株式会社
- *日本富士通有限公司北京分公司
- 日本マクドナルド株式会社
- 株式会社日本旅行
- *株式会社NOVA
- 野村證券株式会社
- *パーカー加工株式会社
- バイエル薬品株式会社
- 浜松ホトニクス株式会社
- *株式会社PALTEK

- 株式会社韓進海運
- Banyan Tree Hotels & Resorts
- 株式会社ビジネスコンサルタント
- 日立構電工業株式会社
- *日立建機株式会社
- 株式会社日立製作所
- 日立マクセル株式会社
- 株式会社日比谷花壇
- ヒューマンリソシア株式会社
- 広島県警察本部
- 広島信用金庫
- ヒロセ電機株式会社
- 株式会社ファミリーマート
- 株式会社ファンケル
- *富士通株式会社
- フジノン株式会社
- *古河オートモーティブパーツ株式会社
- *株式会社フルキャストテクノロジー
- 株式会社プレナス
- 別府市役所
- *ベルネット株式会社
- ホクレン農業協同組合連合会
- 北海道リコー株式会社
- *株式会社ホテルメトロポリタン
- 株式会社堀場エステック
- 本田技研工業株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- マフチモーター株式会社
- *株式会社丸順
- 株式会社丸八真綿
- *三井化学株式会社
- *三井住友海上火災保険株式会社タイ支店
- 株式会社三井住友銀行
- 三井物産スティーロート株式会社
- 三菱化学株式会社
- *三菱証券株式会社
- 三菱商事石油株式会社
- *三ツ星ベルト株式会社
- 株式会社宮崎銀行
- 株式会社村田製作所
- 村中医療器株式会社
- 明治安田生命保険相互会社
- 株式会社明電舎
- 株式会社メタル建材
- 矢崎総業株式会社
- 八鹿酒造株式会社
- 株式会社山田養蜂場
- ヤンセンファーマ株式会社
- *UFJ銀行 上海支店
- ユニオンケミカー株式会社
- 株式会社読売ツアーサポート
- 楽天株式会社
- 株式会社リクルート
- リゾートトラスト株式会社
- 株式会社西備システムズ
- リンナイ株式会社
- *ロート製薬株式会社
- YKK AP株式会社
- *YKK株式会社ロシア
- 株式会社ワオ・コーポレーション
- 株式会社和真
- 学校法人立命館 (APU)
- 学校法人立命館 (Rits)

注1: *は国際学生の内定者を含むもの
注2: 複数の内定者を含む企業が多数あります。

これまでに
就職した国際学生
出身国・地域

- アメリカ
- イギリス
- イラン
- インド
- インドネシア
- ウズベキスタン
- エチオピア

- オーストラリア
- ガーナ
- カナダ
- 韓国
- ケニア
- シリア
- シンガポール

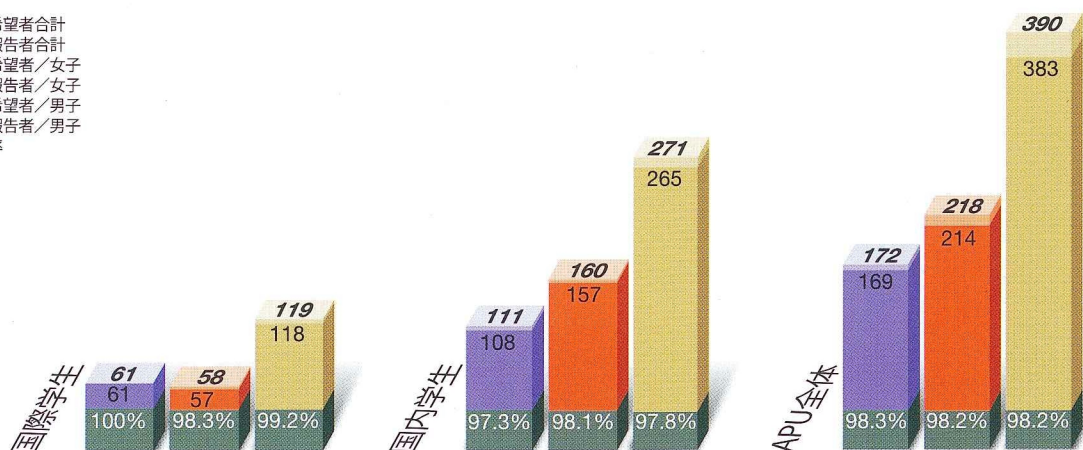
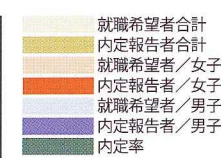
- スーダン
- スリランカ
- タイ
- 台湾
- 中国
- トンガ
- ナイジェリア

- ニュージーランド
- ネパール
- パキスタン
- バングラデシュ
- フィリピン
- フィンランド
- ベトナム

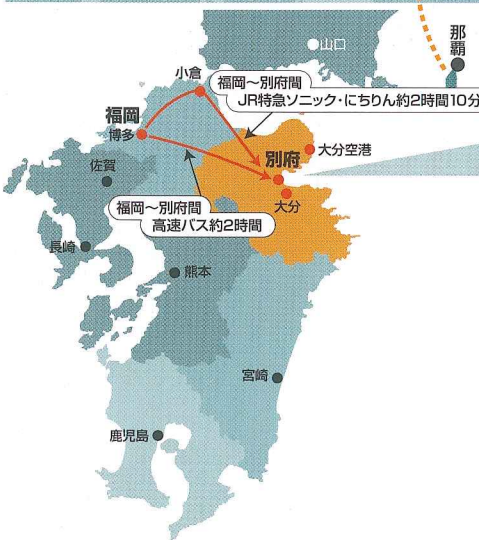
- マラウイ
- マリ
- マレーシア
- ミャンマー
- モルドバ
- モロッコ
- モンゴル

- リトアニア
- ロシア

2004年度
APU内定報告状況
[2005年3月31日現在]



ACCESS



●別府・亀川からのアクセス

APUのキャンパスまでは、別府駅—亀川駅—APUを結ぶ「大分交通」と、別府駅—鉄輪—APUを結ぶ「亀の井バス」の2路線があります。亀川駅—APU間は約13分、鉄輪—APU間は約15分、別府駅からは約35分です。

APU海外オフィス

下記の国・地域にはAPU海外オフィスがあります。

The UBC-Ritsumeikan Academic Exchange Program at University of British Columbia (Canada)

Room 333, Ritsumeikan-UBC House, 6460 Agronomy Road, Vancouver, B.C. V6T 1W9, Canada
Tel: +1-604-822-9501 Fax: +1-604-822-9515
URL: <http://www.ritslab.ubc.ca>

Ritsumeikan Liaison Office located in Shanghai Jiao Tong University (China)

Room D, 18F, Suntong Infoport Plaza, No.55, Huaihai West Rd., Shanghai City, 200030 China
Tel: +86-21-6283-5104 Fax: +86-21-6283-5247
E-mail: shanghai@st.ritsumeia.ac.jp

APU Office of Indonesia (Indonesia)

Summitmas Tower I, 10th Floor Jl. Jend. Sudirman KAV. 61-62, Jakarta 12190, Indonesia
Tel: +62-21-252-3708/3709 Fax: +62-21-252-3710
E-mail: univrap@pacific.net.id

APU Office of Korea (Korea)

#505, Halla Classic Officetel 5th Floor, 824-11 Yeoksam-Dong, Kangnam-gu, Seoul, 135-080, Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426 Fax: +82-2-564-3427
E-mail: hello@ritsapu-kr.com
URL: <http://www.ritsapu-kr.com>

APU Office of Taiwan (Taiwan)

7F-5.6, No.46, Sec. 2, Jhongsan N. Road., Taipei City 104, Taiwan (R.O.C.)
Tel: +886-2-2523-6852 Fax: +886-2-2523-3910
E-mail: taipei@apu.ac.jp

Dr. Twee Hormchong, (Thailand)

Visiting Prof. of Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies
99/14 Soi 84 Petkasem Road, Bangkok 10160, Thailand
Tel/Fax: +66-2-413-0275
E-mail: twee@apu.ac.jp



Ritsumeikan Asia Pacific University

●問い合わせ

立命館アジア太平洋大学 キャリア・オフィス
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
TEL0977-78-1128 FAX0977-78-1129

インターネットへのアクセスは <http://www.apu.ac.jp/>
電子メール受付 career1@apu.ac.jp